

シンナソー沢登り報告書

(山域) 奥多摩

(ルート) 入渓点 ~シンナソー遊行 ~稜線 ~入渓点

(日時) 6月13日(土)

(天候) 晴れ

(参加者) CL: 加藤・登攀 L: 上茂・小原・薄井・石井・辻本・岸野(記録)

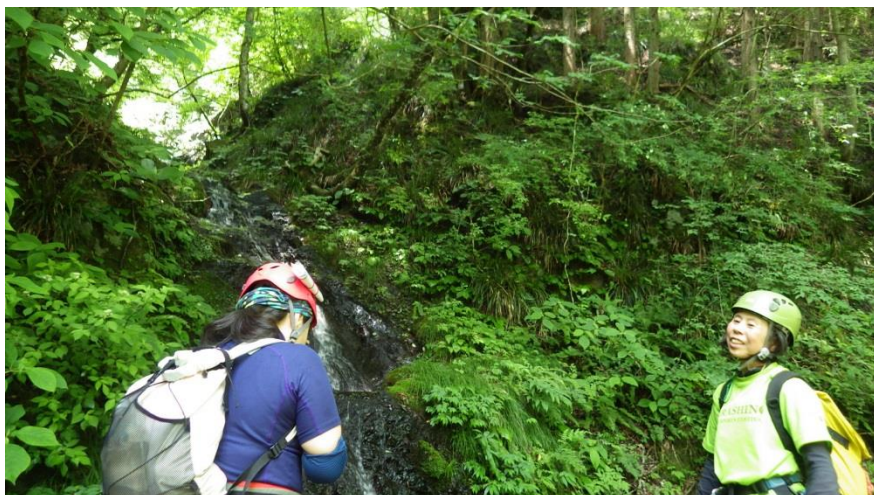
(山行タイム) 入渓点 10:20~稜線 13:45~入渓点 14:50

(山行報告)

辻本車に上茂さん・薄井さん、岸野車に小原さん・石井さん・加藤さんを乗せて湾岸線から中央高速に乗り途中石川PAで待ち合わせて八王子ICにて一般道へ。八王子あたりだと街が近くて山に来たような感じがしないが、しばらく走っていると急に山らしくなってくる。段々道が細くなってきて溪谷も見えだしてきたのでやっと沢に来たような気分になってきたところで入渓点に到着。



民家の脇の少しのスペースになんとか車を止めることが出来たが、先行者がいると泊める場所に困るかもしれない。近くまでバスが来ているのでそれを利用する人も多いようだ。廃屋の横を通り入渓点へ降りる。



すると直ぐにシンナソーの出会いに4m位の滝が出迎えてくれる。
結構ナメ滝が連続していてヌルヌルしていて、注意しないと足を取られて転びそうになる。



途中6～7mの滝でかなり滑っているところで先頭の上茂登攀Lが足を滑らせてしまった時、辻本さんから私に「何をぼけっと見てるんだ！ちゃんとお前がケツを押さえなきゃダメじゃないか」とお叱りを受けてしまった。こういう場合は女性の尻を触ることになるが、正当な理由があるからセクハラにはならないだろう。これからは積極的に下で支えようと思った。

しばらく小滝を越してゆくと10mの滝に。

ここぞ俺がと言わんばかりにT氏が張り切って先頭に登る。



ここを無難に抜けてしばらく行くと本日のハイライト15mの滝にでる。ここで1本となって休んでいると後ろのパーティーを先行させる。ちば山の事も知っていてベテランそうだったのでどう登るか見ていたら、カムが取れなくなって往生していた。そのうち諦めて先に行ってしまった。さあ今度は当会上茂登攀Lの出番だが、内心あのカムが取れば、そして下山後彼らに会わなければ残置物として誰のものでも無く取った人のものと思ったかどうかは彼女にしか分からない。滑っているし途中ハングしたような所もあるがそこは難なく抜けたがカムの所だけかなり執拗に時間をかけていた。そして取れた！



その先は倒木だらけで非常に歩きづらい所を抜けていくと、やがて水が溷れてきてそろそろツメまで来る。二俣を過ぎた所で尾根まで登るがグズグズの斜面で蟻地獄のようである。私のように体重が重いと足をかけたたん地面が崩れてしまいなかなか進まない。軽い人は結構すんなり尾根まで上がっていたが、これは難易度が体重に比例するのだろうか。

そう考えると、登るのに苦勞した人は体重が重かったせいだろう。



本来は下りはヒヤマゴ沢を下る予定であったが、倒木だらけで歩きづらいということで尾根を下った。

そして下山し、温泉に入って帰葉。

私は今回初めての沢登りだった。今までは溪流釣りで相当沢には入っていたけれども、同じ沢に入ることでもまた違った面白さを発見した。

滝を登ったり、釣では諦めていたような所も突破しながら登っていくのは非常に面白いと思った。

はまりそうである。